

✧ 校報松風

新山小学校 学校だより
令和7年度 第22号
令和8年3月12日

学力調査結果

全国学力・学習状況調査 (令和7年4月 6年生実施)

今年度始まってすぐの4月17日(木)に6年生が実施しました。

今年度は、例年行われている国語と算数に理科を加えた3教科での実施でした。平均正答率で全国及び秋田県と比較したとき、本校の6年生は全体的に、やや下回るという結果でした。観点で見ると、3教科共に、知識・技能の観点に比べて、思考・判断・表現の観点に課題が多く見つけられました。これまで、授業の中で対応してきました。

	国語	算数	理科
秋田県との比較	やや下回る	やや下回る	下回る
全国との比較	同程度	やや下回る	やや下回る

質問紙調査(学習への取り組み方や生活の様子)では、「毎日同じくらいの時刻に起きる」等で肯定的な回答が多く、基本的な生活習慣への意識の高さが認められました。反面、「土日の学習の時間」は県平均より短くなっていました。先日校内で行った「メディア利用時間」がさらに長時間化しており、家庭での学習時間の短時間化と無関係ではないと考えられます。

※裏面に、由利本荘市教育委員会でもとめた結果概要を載せましたので、併せてご覧ください。

秋田県学習状況調査 (令和7年12月 4・5年生実施)

12月3日(水)に4・5年生で実施しました。下記は、秋田県の平均正答率との比較です。7教科中4教科で県平均を上回りました。国語が4年生、5年生共に県平均を下回り、来年度に向けた課題となりました。4年生の理科は、特定の問題(棒温度計の使い方)での誤答が多かったため、回復を図りました。

学年	国語	算数	理科	社会
4年	やや下回る	やや上回る	やや下回る	
5年	やや下回る	やや上回る	上回る	上回る

質問紙調査では、課題の一つとして捉えられてきた「自分にはよいところがある」の設問について、肯定的な回答の割合が、4年生、5年生共に高くなりました。同様に、昨年課題となった「家庭学習の時間」は、「平日の学習時間」において改善が認められ、全県平均と比較して長い傾向を示しました。ただし、「土日の学習時間」は変わらず短い傾向にあるため、上記6年生の結果と同様に、動画視聴やゲームなどのメディア利用の時間を考えていく必要があります。

間もなく春休みです。ドリルや問題集などを活用して、今年度の学習をしっかりとまとめて進級できるよう、ご家庭でも励ましの声かけをお願いいたします。

令和7年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

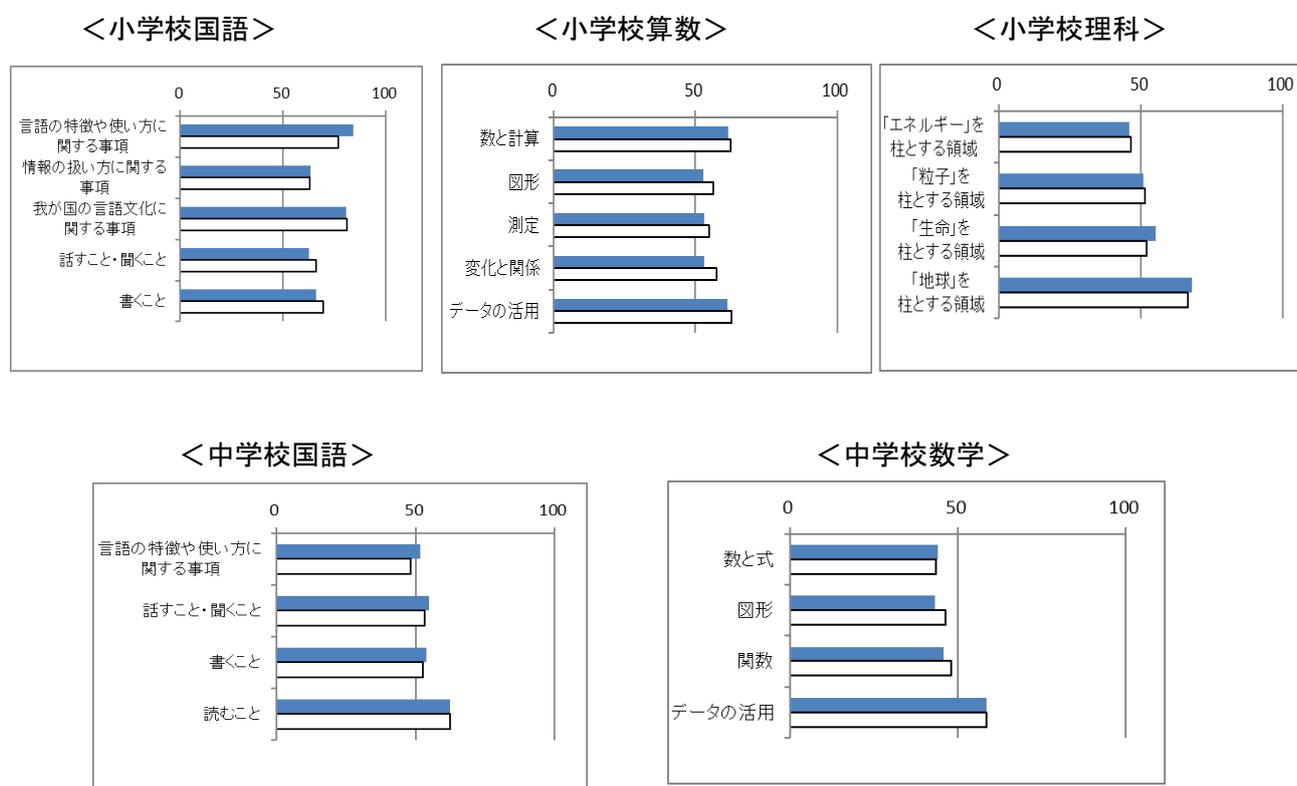
本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和7年4月14日から17日に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、小学校は国語、算数、理科、中学校は国語と数学、タブレット端末を利用した理科が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

■ 由利本荘市 □ 全国



質問紙調査からは、小学校・中学校ともに、地域や社会をよくするために自分が何かしてみたいとの回答が昨年度同様、全国平均を大きく上回っていました。由利本荘市の地域を素材としたふるさと教育が児童生徒によりよく反映されていることが分かる結果となりました。その一方、1日あたりの学習時間は昨年度に続き減少傾向にあります。また、授業でのICTの活用については、4年連続増加していますが、全国と比較すると下回っている状況です。放課後の時間とICTのより有益な使い方について、さらに改善していく必要があります。